

第 11 回 ケアマネとリハ職の情報共有の練習会

令和 7 年 11 月 12 日（水）19 時-20 時 30 分 オンライン開催

リハ職が書いた情報提供書（リハビリテーション計画書）をケアマネジャーとリハ職が一緒に読み取ることで、

《ケアマネ》生活機能の今後の可能性（将来予測）や、生活上の注意をどうやって確認するか

《リハ職》情報をどのように伝えとケアマネが理解しやすいのか

について考え、深めていくことを目的とした練習会になります。第 11 回はオンラインにて開催し、ケアマネジャー 5 名、リハビリ職 19 名、その他の職種 1 名（計 25 名）が参加されました。

今回は、理学療法士会より「もう一度畑へ～生きがいを取り戻したい 82 歳男性～」の事例提供をいただき、4 グループに分かれて話し合いを行いました。計画書に記載された情報で分からない事などを聞き合いながら、目標設定に向けてケアマネとリハ職が何に着眼し、どのように共有すればよいのか、互いに学びを深める時間となりました。

今回のケアマネジャー、リハ職の学び・気づき（一部抜粋）

<ケアマネジャーの気づき>

- ・ケアマネジャーとしてリハビリテーション計画書を確認する際は、今後の予後予測が知りたい。短期目標や長期目標を参考にすることが多いので、噛み砕いた表現で書き込んでほしい。
- ・心身機能・構造、活動の各項目の特記事項は、改善の見込みを含めて具体的に書かれていると目標設定に役立つ。

<リハ職の気づき>

- ・抑うつ状態に関する情報については、実施上の留意点や見通し、特記事項に書き込むと良いことに気付いた。
- ・再発や将来的なリスクを予防するために必要な情報を注意点として伝える必要があり、1 枚目下の「特記事項」や 2 枚目下の「***と共有すべき事項」にその内容を記載すべき。
- ・各項目で自由記載の文字数が多くなってしまうと大事な部分が伝わりにくくなるリスクがある。記載内容に優先順位をつけて、リスク管理など大事なことが抜け落ちないようにする工夫も必要。

参加者アンケート回答（一部抜粋）

- ・P T、OT の視点の違いが分かった。（ケアマネ）
- ・ベテランのセラピストさんが多かったので、疾患理解も深まった。（ケアマネ）
- ・具体的な動作と見込み（予後となればリハ職が発しているいい訳ではないので難しいケースもある）を記載するようにしたい。（リハ職）
- ・具体的に伝えることの大切さを改めて感じた。次に繋がる情報共有の難しさも同時に感じたが、経験を重ねてアップグレードできるようにしたい。（リハ職）
- ・個々で書類の読み解き方が異なるので、自分になかった気付きもたくさんあり、とても勉強になった。職種によって違いがあるからこそ情報共有を密に行わなければいけないと思う。（リハ職）
- ・医療の知識がない方でも分かる言葉選び・具体性を持った計画書作りを心がけたいと思う。（リハ職）

次回の「ケアマネとリハ職の情報共有の練習会」は令和 8 年度開催予定です！

※今後の研修会情報につきましては、詳細が決まり次第、ホームページにてお知らせいたします。